

「ハワイ大学マノア校英語研修 参加報告書」

京都大学経済学部4年 北川皓子

今回私は、大学の春休みを用いて、ハワイ大学マノア校における3週間の英語研修のプログラムに参加しました。プログラムに参加した目的は、ハワイの文化を学ぶことと、英語の勉強方法を身につけることでした。

①学習成果

プログラムを通して、ハワイの文化や歴史・自然などについて学ぶことができ、ハワイに住む人々と交流することができました。プログラムに参加する前は、ハワイのことを良く知らなかったのですが、授業でフラダンスやハワイの伝統的農法・ハワイ王朝の歴史など様々なトピックについて学び、ホストファミリーやハワイ大学の学生と会話することで、ハワイについての理解を深めることができました。

一方で、英語の勉強についても、今後の学習へのヒントを得られたと思います。ハワイの文化や人々の考え方を少しずつ理解するにつれて、もっと英語で様々な話題について詳しく話すことができれば良いのと思うようになりました。今回のプログラムに参加したことで、自分の考えをはっきりと伝えることができるよう、さらに英語の勉強をしていきたいと思うようになりました。

②海外での経験

今回、ハワイに行くのは初めてだったので、知らない場所に行くことに対して少し不安を持っていました。また、英語で話すことが苦手だという意識があったため、最初は自信を持って英語を話すことができませんでした。しかし、ホストファミリーやハワイ大学の学生と会話する中で、少しずつ英語を話すことに自信を持てるようになりました。そして、自分の聞きたいことや言いたいことをはっきり伝えることで、新しい情報を得ることができ、相手のことを少しずつ理解することができるということを学びました。海外では慣れない環境で不安になることもあります。積極的にいろいろな人とコミュニケーションをとることで新しいことを学ぶ機会が得られるのだと思いました。

③プログラム内容

プログラムでは、いくつかのクラスに分かれて授業を受けました。私のクラスでは、クラスメイトは全員日本の大学の出身でした。しかし、クラスでは日本語を話すことはなく、英語で発言することに積極的な人ばかりだったので、とても刺激を受けました。

クラスでは、英語を学ぶだけでなく、ハワイの文化や歴史、自然などについても学びました。たとえば、クラスでフラダンスのワークショップを行ったり、グループワークでハワイの島々についてのプレゼンテーションを行ったりしました。フラダンスのワークショップでは、「フキラウ」というハワイの歌に合わせてダンスを習いました。フラダンスを教えてくださいました先生は、伝統的なフラダンスに込められた意味や、ハワイの人々の宗教観について教えてくださいました。

さらに、クラスの課外授業ではワイキキやダウンタウンに行き、歴史的な建物やウクレレ工場などを見学しました。特に、ワイキキ水族館に行ったことが印象に残っています。ワイキキ水族館では、ハワイの海や川の生き物を見ることができ、ハワイの豊かな自然を感じることができました。また、水族館のボランティアのガイドの方から、ハワイの生態系が乱獲や外来種の持ち込みによって破壊されているというお話もお聞きしました。ボランティアの方々は、ハワイの自然環境を守るために何かできることをしたいとおっしゃっていました。私も、自国の文化や自然を守るために何ができるのかを考えなければならぬと感じました。

また、プログラムでは、ハワイ大学の学生と交流する機会も多くありました。交流会では、アメリカと日本のジェスチャーの意味の違い、家族や教育に対する考え方の違いなどについて話すことができました。アメリカのジェスチャーの意味については知らないことも多く、共通の文化的背景を持っていないと理解が難しい部分があると感じました。一方で、家族や教育に対する考え方には、お互いに共感することができました。文化が違っても、多くの点で似たような価値観を持っており、お互いに理解し合うことができるということに、嬉しい気持ちになりました。

④進路への影響について

このプログラムを通して、英語でコミュニケーションをとることや、海外で慣れない環境に飛び込んでいくことの面白さを知ることができました。私は来春から就職する予定ですが、英語の勉強を続け、英語で多くの新しいことを学びたいと思っています。仕事や留学などで、海外に行くチャンスがあれば積極的に挑戦したいと思います。